

# 三重 PECS 研究会第 17回

～不適切な関わりへのアプローチ & いろいろなコミュニケーション～

日時	2017年9月2日(日)13:00～16:00
場所	三重県立城山特別支援学校 視聴覚室
参加人数	36名
内容	<p>1. デモ「PECSが初めての2人のお子さんへのデモ」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●Oさん<ul style="list-style-type: none"><li>・直前のアセスメントにより、現在の強化子はアンパンマンの動画。</li><li>・フェーズ1から始めた。9 試行目くらいになると自分からカードを取って、コミュニケーションパートナーに渡すことができた。また、9 試行目以降、すぐにフェーズⅡまで進むことができた。</li></ul></li><li>●Nさん<ul style="list-style-type: none"><li>・強化子は、シャボン玉。</li><li>・フェーズ1から始めた。N さんもプロンプターの促しカードをコミュニケーションパートナーに渡していたが、6 試行目くらいになると自発的にカードを渡すようになった。10 試行目にコミュニケーションパートナーが変わったが、戸惑うこともなく、カードを渡すことができた。</li></ul></li></ul> <p>2. ケース発表1「不適切なかかわりへのアプローチ」(〇〇支援学校 前野先生)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●児童の実態<ul style="list-style-type: none"><li>・下肢に装具を使用。手引き歩行。歩行器を使って進むことができる。四つ這い移動。手先を使った作業をすることができる。</li><li>・人とかかわりが好き。反応を見ている。水遊びや手遊びが好き。</li><li>・表出言語は、「水ください」等、2 語文を話すことがある。友だちや先生の名前を言う時がある。「〇〇しますか？」の質問に対し、「はい」と手を挙げながら返事ができる。</li><li>・他害やつば吐きがある。物を投げたり、倒したりもある。特に姉に対しては、追っかけてでもする。</li><li>・口の中の吹き出しは、どの教室でもするが食事中が多い。主訴は、吹き出しの行動を減らしたい。</li></ul></li><li>●手立てと実践<ul style="list-style-type: none"><li>・理由は、苦手な食べ物への拒否？ お腹いっぱい意思表示？ 注目？。</li><li>・どの先生でも行う。食事の後半に多い。</li><li>・手立ては、終わりを明確に示し、食べる量を調整する。好きな食べ物はしっかり要求できるように、応答「はい」と答えるように学習を進める。サインである口がとんがってきたら、「ごちそうさま」を促す。</li><li>・まだ吹き出しはあるが、依然と比べると少なくなってきた。</li></ul></li><li>●課題<ul style="list-style-type: none"><li>・学校での吹き出しはなくなってきた。家庭との連携を行い、家庭での吹き出しを少なくしていくこと。</li></ul></li></ul>

### 3, ケース発表2 「いろいろなコミュニケーション指導」(〇〇支援学校 石井先生)

#### ●児童の実態

- ・絵カードで要求することはあるが、直接行動がまだ多い。
- ・見通しが違う時、思いが叶わないと癩癩につながることもある。
- ・注目を集めるため、脱走する時がある。
- ・特定の感覚刺激を好む。人の腕の肉に触れ感触を味わったり、床や壁に貼ってあるテープを剥がしたりする時がある。

#### ●手立てと実践

- ・いろいろな表出コミュニケーションの学習を行う。属性語や応答による要求、コメントの指導を行う。援助の要求や「はい」「いいえ」の表出を指導する。
- ・理解コミュニケーションの指導も行う。スケジュールの取り組みや「待つ」の理解、交渉の学習を行う。
- ・机の配置の工夫や水場のパーテーションの設定をし、脱走しにくい、水遊びしにくい構造にする。
- ・休み時間はタイマーで遊びを終えることができるようになった。スケジュールを自分で確認し、次の学習に向かうことが増えた。癩癩が減り、笑顔が増えた。

#### ●課題

- ・コミュニケーション学習の他場面の般化。
- ・感覚刺激の代替。脱走への対応。

### 4. 質疑応答、グループ討議

- ・家庭との連携は、まずは信頼関係の構築が大切。
- ・学校が思っているほど、親は学校に感謝している。学校は、熱心にかかわってもらっている。
- ・嫌いな物を我慢して食べることより、食べたくないことへの意思表示が先だと思う。
- ・食べることは楽しいこと。我慢する、頑張るより、楽しく食べる方向に考えた方が良い。
- ・行動問題には記録を取り、機能(意味)をしっかり考えた上で指導方法を考える。
- ・脱走については、強化子アセスメントをもっとした方が良い。
- ・絵カード作成の大変さへの対処は、一度に同じ絵カードを何枚も作り溜めすると良い。



ポイント

- 自発の表出コミュニケーションの大切さ。
- PECS のフェイズの指導を進めながら、9つの重要なコミュニケーションの指導も進めていく。
- 行動問題には、記録を取り、機能(意味)をしっかり考える。